

親子で防災体験学習

「学校へ泊まろう!!」を開催

8月6日～7日、岩井第二分館と岩井第二地区子ども会育成連合会主催にて、災害時に避難所となる学校での避難生活を体験し、いざという時の備えを学ぶことを目的とした、「学校へ泊まろう!!」を開催しました。

参加した子どもたちや保護者のかたは、防災教室として「避難所HUG(避難所運営ゲーム)」を体験し、ゲームを通じて避難所運営の難しさ、みんなで協力することの大切さを学びました。

また、「夜の学校探検」きもだめし」などのレクリエーションも実施し、普段できない夜の学校での生活を十分に楽しみました。

学校・家庭・地域・行政の協働による「親子での防災体験学習」として、夏休みの思い出に残る、とても貴重な体験となりました。



▲学校の音楽室で一夜を過ごす子どもたち



▲避難所運営ゲームの様子

坂東市民隊

相馬野馬追の旅を開催



武者のお行列や甲冑競馬、神旗争奪戦を肌で感じていただきました。

小雨がちらつく不安定な天気でしたが、会場には約4万3000人の観客が詰めかけ、騎馬武者たちの勇猛果敢な馬さばきに大歓声を送っていました。

また、塩谷崎灯台では東日本大震災の被災者のかたの貴重な体験談を聞かせていただき、改めて震災の恐ろしさと復興の大切さについて考えさせられました。

来年も多くの市民のみなさんに参加していただき、親睦を深めていただけるようなツアーを計画したいと考えていますので、楽しみにしてください。

参加者の声

● 今年はバスツアーが日帰りになり、以前よりも気軽に

行けるので多くの友人を誘って参加しました。行く前は暑さが心配でしたが、当日は小雨で、暑くなく恵みの雨でした。見学場所も良い席を用意していただきとても良かったです。

● 日帰りで相馬野馬追を見られたのは良かったです。一泊だとなかなか参加できないので大賛成です。塩谷崎灯台では被災者の実体験を聞けました。被災地の様子もお話を聞いたおかげで実感できました。

● 相馬野馬追ということで暑さを警戒していましたが、雨でちょうど良い気候でした。塩谷崎灯台での東日本大震災時のお話は分かりやすかったです。とても楽しい1日を過ごすことができました。

